

さまざまな支援組織を頼り、びっ掛けで今年一月に発た。しかし、納得できる。足した。五月に仙台市

偏



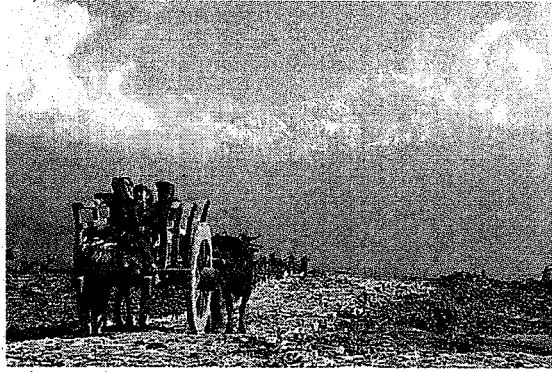
5月... いたたい。そのつなが... りをもっと広げたい」

優しい人々... 美しきネパール

ネパールの自立支援活動をしている「CCC WA愛媛の会」(池田郁江代表、正会員二十人)は、ネパールを舞台にした映画「カタプタリ〜風の村の伝説」(制作監督・伊藤敏朗)の上映と、伊藤氏の講演を七月十二日午後一時から、松山市桑原三丁目の松山東雲短期大学で行う。

同会は、一九九五年からフィリピンやネパールで、里親制度による子ども教育支援や植林、学校建設の資金援助などをしている。九年から毎年一回、ネパールを知ってもらうためのイベントを行っているが、今回はその十回記念イベントとなる。

妖精と子ども 交流描く



ネパールを舞台にした映画「カタプタリ〜風の村の伝説」の1場面

自立支援愛媛の会 来月12日上映会

「カタプタリ〜風の村の伝説」は、ネパールの美しい山村を舞台に、人形芝居の一座に姿を変え山から下りてきた妖精と、村の子どもの心の交流を描いたファンタジー映画。制作、監督の伊藤氏

「これまでイベントではネパールの貧しさや民族の複雑さなど、暗い面を紹介することが多かったが、今回は自然の美しさや人の優しさなどを映画を通して知ってほしい」と話している。

「これは東京情報大学準教授で、同大の学生を連れて現地入りし、地元のレストランや俳優、村人らの協力ですべてネパールロケで撮影した。同日は伊藤氏も来県し、上映後「ネパール映画の現状と課題」カ



みががて

別に変換ミスではありません。後期と呼ばれるこの言葉が嫌なので。せっかくなので自分の健康に

高貴高齢者

やがて私もその仲間に入ります。人さまより健康には気を付けました。よつやくこまで来ました。その後には後期、末期と指名されるのです。へ理屈とは分かりませぬ。せめてもう少し優しい気遣いができないのですか。確かにどこへ行っても高齢者の元気がありません。もっと何かをしたいのです。やれるのです。後期と片付けられないのです。もっと真ん中に置いてみては

持田町の県生活文化センターで。宿題は「バランス・半分・弾」。カミヤマヤチ日

うの運勢 宇佐見 斎明 26日(木、先負)

3月 仲間の難儀には力を貸すべし。思わぬ形での恩返しがある
4月 昔の恋人や疎遠になっている旧友とばったり再会する

7月 勝負は土壇場まであきらめな。大逆転勝ちが多い日
8月 近い間柄で急病人出がち。特に肉親の健康管理は大事

11月 仕事運はすこぶ位から棚ぼた的
12月 弱り目にたたっていると立き